

## 井上 敏江さん 満百歳を祝う

井上 敏江さんが2月3日、満百歳の誕生日を迎えられ、中山市長らが井上さんの自宅を訪問し、祝い状などを贈りました。

井上さんは大正11年に徳島市にて出生。学校を卒業後、27歳のころにたばこの専売公社に勤められている方とご結婚をされ、小松島に転居されたとのこと。結婚後は3人の子どもを育てられました。子育ての時期と戦後の混乱期が重なっていたため、井上さんは「当時は物がなく、大変な時代だった」と振り返っておられました。現在は同居しているひ孫の方の成長を見るのが楽しみとのこと。

この日井上さんは、同居されている家族の方からの祝福の言葉を受け、「長生きできてうれしいです」と応えられていました。



井上 敏江さん

## 小松島西高等学校 生徒たちの取り組みが とくしま創生アワードの「ひらめき賞」を受賞

徳島の元気につながる事業プランを募集し、実現を支援するコンテストであるとくしま創生アワードに応募した小松島西高等学校食物科の取り組みが、「ひらめき賞」を受賞しました。

受賞したのは、生ごみ分解型処理容器キエーロをPRする取り組みで、生徒たちの取り組みがSDGs達成に向けた市政の振興に大きく寄与するものであることから、2月17日、中山市長より生徒の代表の方へ感謝状が手渡されました。



感謝状授与式の様子

## 災害廃棄物の処理に向けた体制づくり 一般社団法人徳島県産業資源循環協会と連携協定を締結

2月18日、小松島市と一般社団法人徳島県産業資源循環協会との間で、災害時に発生が見込まれる災害廃棄物の処理に関する協定を締結しました。この協定は、災害時に災害廃棄物が大量に発生した場合、速やかにその処理を実施することにより、市民の方々が1日も早く日常生活を取り戻すことができるよう、廃棄物の処理に向けた体制を強化するためのものです。

市役所で行われた協定締結式に際し、中山市長は「今回の協定が小松島市の防災能力向上につながるものとなるよう期待したい」、徳島県産業資源循環協会の岸史郎会長は「災害はない方がよいが、いざという時は本協定に基づき、協会としても災害復興にできるかぎりの協力をしていきたい」とそれぞれ話されていました。



協定書締結式の様子